

(科目コード : 8501520004JJ)

【改訂】第19版(2015-03-30)

【科目】システムプログラム

【科目分類】 専門科目 【選択・必修の別】 必修

【学期・単位数】 通年・2単位

【対象学科・専攻】 電子情報 4年

【担当教員】 前期：中村 啓太
後期：中村 啓太

【授業目標】

計算機システム内で動作しているプログラムの原理，内部構造を理解できる．
コンパイラを構成する基本的なアルゴリズムを理解できる．
コンパイラのプログラムを読むことで，コンパイラの理論と技法を習得できる．
自力で簡易的・部分的なコンパイラを作成できる．

【教育方針・授業概要】

本科目は通年2単位科目，授業時間は60単位時間(45時間)です．
この科目では，高級言語で書かれたプログラムを機械語のプログラムに変換する『コンパイラ』の原理について学びます．
また，コンパイラを構成する基本的なアルゴリズムを理解し，簡素化されたコンパイラのプログラムを読むことで，コンパイラの理論と技法を実践的に身につけます．

【教科書・教材・参考書等】

教科書：コンパイラ：中田育男：オーム社：4274130134
自作資料を配布することがあります．

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

教室での講義

【成績評価方法】

[前期]中間試験：40%，期末試験：40%，レポート：20%，レポートが1通でも足りない場合，不可となります
[後期]中間試験：40%，期末試験：40%，レポート：20%，レポートが1通でも足りない場合，不可となります

【達成目標】

	達成目標	割合	評価方法
1	後置記法・スタックを理解する	20 %	試験およびレポートで評価
2	バックス記法・構文図式を理解する	20 %	試験およびレポートで評価
3	字句解析処理を理解する	20 %	試験およびレポートで評価
4	再帰的下向き構文解析の理論を理解する	20 %	試験およびレポートで評価
5	意味解析における記号表の構成法・探索法を理解する	20 %	試験およびレポートで評価

【本校の学習・教育目標】

(B-2) 基礎工学科目の学習を通して、工学の基本を身に付ける

(B-3) コンピュータリテラシーの基礎を学習し、それを簡単な工学的問題に応用できる

【授業計画】(システムプログラム)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
1	ガイダンス	授業の進め方 成績評価に関する説明 コンパイラとインタプリタ		
2～6	コンパイラについて	後置記法・スタック・木構造 コンパイラの構造	レポート	
7～11	文法と言語	バックス記法 構文図式 文法と言語の形式的定義・解析木	レポート	
12～16	字句解析	文字・字句の読み取り 正規表現から決定性有限オートマトンへの変換	レポート	
17～22	構文解析	下向き構文解析 後戻り・左再帰性の問題点 LL(1)文法 再帰的下向き構文解析プログラム	レポート	
23～27	意味解析	記号表の情報・探索 ブロック構造と記号表	レポート	
28	まとめ	1年間の復習		